

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●「作業者同士の現場視察・意見交換会（木樵の技術交流会）」を開催しました

令和5年7月6日（木）、関市下之保地内において「作業者同士の現場視察・意見交換会（木樵の技術交流会）」を開催しました。

伐採や重機の操縦など現場作業を担う森林技術者は、他の林業事業体の森林技術者と交流する機会が少ない状況にあります。

このため、林業事業体の垣根を越え、森林技術者同士が交流・意見交換することで、互いに労働安全性や作業効率の向上につなげる交流会を開催しました。

今回は、中濃森林組合、株式会社丸光イトウ、可茂森林組合そして笠原木材株式会社から13人が参加し、関市下之保地内の中濃森林組合の伐採作業現場を題材に意見交換を行いました。

参加者からは、「枝葉や端コロなど、バイオマス用に搬出するのか」、「伐採木の置き方により、プロセッサの作業手間が変わってくる」、「新規採用した作業員の指導の方法に気を付けていることはあるか」といった意見に対し、「枝葉や端コロは、バイオマス用に搬出せず、林内に整理している」、「作業道沿いでの集材であるため、伐採木の置き方など様々なパターンを試しているところ」、「作業班内で、伐採やオペなど全部の作業ができるよう育成にしている。工期に迫られることがあるが、絶対に焦らないよう心掛けている」など作業班内での工夫を聞かせていただくことができました。

また、参加事業体での仕事の発注方法や丸太の運搬方法など、各事業体それぞれの課題など活発に意見交換ができました。

他の林業事業体からの意見は、労働安全性や作業効率の向上に向けた「新たな気づき」につながることから、参加者からはとても有意義であったとの感想が寄せられました。

年度内に2回目の現場視察・意見交換会を開催する予定ですので、興味のある林業事業体の方は積極的に参加をお願いします。

▼裏面へ続く



現場説明・作業聞き取り



現場作業見学



意見交換会

●最新式集材機の現地見学会を開催しました

令和5年7月26日(水)～27日(木)、郡上市八幡町河鹿地内にてイワフジ工業(株)の油圧集材機(YR-302E)と架線式グラップル(BLG-16R)の現地見学会を開催しました。

近年、林業の集材作業に関する新技術の開発が進み、労働災害防止や労働強度の軽減、作業の効率化が期待されています。

今回、中江産業(株)岐阜出張所及び白鳥林工協業組合のご協力をいただき油圧集材機と架線式グラップルのデモンストレーションを行いました。

油圧集材機と架線式グラップルのシステムの特徴は、油圧集材機は従来の機械式集材機のような専属のオペレータが不要で、荷掛け・荷外しを行う作業員がリモコンで簡単に操作可能。荷掛滑車のロージングブロックにグラップルを吊り下げたロージンググラップルで、材をつかんで集材を行うため、荷掛け・荷外しを人力で行う必要がなく、作業員の安全性と作業効率の向上が期待できるシステムです。

見学会には、県内外から2日間で32社、93名の関係者が見学されました。

イワフジ工業(株)の担当者から油圧集材機と架線式グラップルの構造説明を受け、参加者と意見交換を行いました。

現時点では、架線式グラップルをタワーヤード等と組み合わせて使用することはできず、油圧集材機とのシステムでのみ可動可能ということでした。今後も最新林業機械等の見学会を開催しますので多数の皆さんのご参加を待ちしております。



油圧集材機の説明



架線式グラップル(ロージンググラップル)の説明



デモンストレーションの様子

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp